

封印のさばき

2026年4月19日

ヨハネの黙示録 6章1～17節

ダニエル書 9章27節

イザヤ書 28章14～22節

序：大患難期 7年間 (前半 3年半 後半 3年半)

42ヶ月

1260日

一時と二時と半時

三つのさばき	封印	6章	¼	
	ラツバ	8～9章	次の¼	
	鉢	16章	残り全体	7番目と次のさばきはかぶっている

目的	①地上から罪、悪人を除く	イザヤ 13:9 24:19~20
	②世界大のリバイバル	マタイ 24:14 黙示録 7章
	③イスラエルの国家的救い	ダニエル 12:5~7 エゼキエル 20:17~20

I. 患難期の始まり

反キリストとイスラエルが7年の契約締結 (同盟/軍事、平和条約)

理由：国防上 (神にではなく同盟により頼む、不信仰ゆえの神の怒り)

ユダヤ人は反キリストをメシアとして受け入れることはない

黙示録に記載なし ダニエル書 9章27節 (24～27節) に預言

II. 封印のさばき

封印を解くのはイエス・キリスト (子羊) 4つの生き物の声

(1) 白い馬 乗っているのは勝利に勝利を重ねている：反キリスト (×イエス・キリスト)

反キリストの台頭 (1～2節)

(2) 赤い馬 大患難時代の3つの大戦のひとつ

偽の平和と安全の破壊 (3～4節)

(3) 黒い馬 食糧の不足、深刻な飢饉、物価高騰 (超インフレ) (5～6節)

ただし、医薬品 (オリーブ油とぶどう酒) はなくなる

さばきの最中での神の恵み

(4) 青ざめた馬 乗っている者の名は死 地上の¼の人が死ぬ (7～8節)

死因：剣、飢饉、疫病、獣

(5)地上⇒天上 祭壇の下にいる殉教者（神のことばとイエスの証とのゆえに）魂
神が悪人に復讐してくれるよう嘆願（9～11節）
後の時代の殉教者たちの数が満ちるまで待て（白い衣：義）休め

(6)自然界の天変地異（12～17節）

天の変化 ⇒ 地上に影響

大きな地震 太陽暗く、月は血のように赤い、落星

暗黒は1回目：大患難期前（ヨエル2・31）

これが2回目（全部で5回）

混乱と無秩序、無政策状態

神を逃れ場・避け所とするのではなく、神から離反する

不信者でさえ、これらは神のさばきと分かる

神のみこころ、ご計画なしにはありえないと

Ⅲ. 7章、8～9章との関連

(1)7章：144000人のユダヤ人と世界大のリバイバル、世界宣教
封印のさばきと同時進行、6章と8章の間に挿入

(2)8～9章：第7の封印とラッパのさばきがオーバーラップ

Ⅳ. まとめ

(1)すべてのことには時がある（私たち人間の思いと神のみこころは違うことが多い
時が満ちて、神の約束は必ず成就する

(2)神は聖・義なるがゆえに罪惡を放置されず、正しいさばきをなさる
神は愛なるがゆえに、恵みを与え、神に来る者を赦し、受け入れ、新しくする
救いを与えてくださる

(3)神のさばきがあると知っていながら、拒否し続けるなら自分を滅ぼす
神以外のせいでは起こらないさばきにあつてさえも、神の懐に飛び込まず、逆に
神から離れ、ほかのもの（被造物）に頼っても無益で空しい

(4)神を信じた者には、白い衣（義）が与えられる 神のものであることのしるし
御国の相続人となる保証、ゆえに神の時を安んじて待つ